

花と緑の銀行だより

207号 2018.5



中央植物園 H30.4.3

目次

- ・花と緑の提言 射水市の花と緑のまちづくりについて（射水支店） 2
- ・活動事例 黒部市の緑化推進活動について（黒部支店） 3
- ・技術講座 富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン 29 タイツリソウ（職藝学院 渡邊美保子） ... 4
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理 イロハモミジ（樹木医 西村正史） 5
- ・報告・紹介 とやまの花壇～八尾園ふれあい花壇～ 6
- ・この人あり 中田を花いっぱい（高岡支店中田地方銀行 堂田正三） 7
- ・報告・お知らせコーナー コンテナガーデンコンテスト(第11回)・わたしの寄せ植え(第8回)入賞作品、
6月～7月の主なイベントなど 7



射水市の花と緑のまちづくりについて

花と緑の銀行射水支店 事務局長

射水市農林水産課長 **宮本 康博**

春の訪れを告げる桜の花も散り、日差しに照らされた新緑がまぶしい季節を迎えています。

日ごろ、花と緑の銀行頭取並びにグリーンキーパーの皆様におかれましては、花と緑に彩られた美しい地域づくりに多大なお力添えをいただいておりますことに深く敬意と感謝を申し上げます。

射水市は、環日本海交流拠点である富山県のほぼ中央に位置しており、コンパクトな市域に港湾、工業地、商業地、高等教育機関など、様々な機能を持つ魅力ある資源が集積し、さらに「海、川、野、そして里山」という豊かな自然を有しています。また、日本海側最大級の斜張橋である新湊大橋をはじめ海王丸パークや太閤山ランド、映画・ドラマのロケ地となった内川など、魅力ある地域資源を備えております。

その本市の特性を生かし「豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創る きららか射水（いみず）」をスローガンに合併以来、着実にまちづくりを進めて参りました。

現在、本市の花と緑のまちづくりについては、27地方銀行、頭取・グリーンキーパー合わせて131名が各地域の実情に合わせた活動に努めています。

県の花のまちづくりコンクールでは「一般花壇部門」や「幼稚園・保育園部門」において最優秀賞を受賞し、その他部門でも優秀な成績を修める団体を数多く輩出するまでになりました。



写真1 県花のまちづくりコンクール（H29）
一般花壇の部 最優秀賞 「黒河地域振興会」

その中でも、「小杉花作り同好会」、「浅井ひとみさん」の花壇においては、ともに県下に5つしかない推進モデル花壇に認定され、団体や企業などの視察・見学が絶えない、県下を代表する花壇となっています。

このように本市支店には、優秀な花壇が複数あり、また、優れた技術を持った頭取・グリーンキーパーも数多く所属されておられます。

本市の緑化推進のさらなる振興を目指し、優良花壇数の増加、頭取・グリーンキーパーの技術向上のため、各地方銀行が連携や情報交換をしやすいように研修や会議等の事業を展開して参りたいと考えております。

また、平成28年度に新庁舎が開庁したことで合併前の旧市町村ごとで設けていた支所等の組織や予算、事業を再編し、各地方銀行がより地域の実情に応じた活動を行政と一体となって取り組める環境の整備に努めております。



写真2 射水支店ではミズアオイの保護活動も行っています～

花づくりは、世代間の交流や住民同士の連携、情操教育の推進といった大きな効果があると言われています。本市支店におきましては、この花づくりの社会性を生かす活動を支店会員の皆様や市民のご意見に耳を傾けながら、今後も一体となって進めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、公益財団法人花と緑の銀行の今後ますますのご発展と、関係の皆様の一層のご活躍を心からご祈念申し上げます。

黒部市の緑化推進活動について

花と緑の銀行 黒部支店

黒部市は、富山県北東部に位置し、北から東には入善町・朝日町・長野県の県境が、南から西は魚津市・上市町・立山町に接しており、面積は427.96km²で、富山県の約10%を占めます。

黒部市の地形は、北アルプスから富山湾まで約3,000mの標高差があり、高山帯から低山帯、さらに黒部川の広大な扇状地、富山湾沿岸部など、変化に富んでいます。

年間の活動内容としましては、春の緑化イベントとして「花と緑ふれあいデー」を開催し、市民の皆さんへ苗木の無料配布や花苗のプランターへの植え込み体験等を行うことにより緑のまちづくりを推進しております。

また、市内の福祉施設や公共施設、保育所、幼稚園、小学校へ花苗を配布し、地域花壇への花苗の植え込みを行っていただくことにより、各地区の地域花壇の整備や管理に取り組んでおります。秋には再度苗木の無料配布イベントを開催し、苗木の無料配布の他、クリスマスツリーづくりなどを行い、花と緑にあふれたうるおいのあるまちづくりを目指して活動を展開しています。

夏には活動の一環として、子どもたちが幼少期から花や緑を愛し育てる楽しさを知り、花や緑への親しみを持つことを目的に、学校花壇コンクールと称し、頭取、グリーンキーパーが市内小学校の学校花壇を現地審査し、「花の生育管理」「設計デザイン」「管理・取組状況」の3項目で採点し、優秀な小学校を表彰しています。



写真1 学校花壇の現地審査様相

また、各地区の取り組みとしては、北陸新幹線における東京方面からの富山県の玄関口である「黒部宇奈月温泉駅」において、駅周辺に県花であるチューリップや季節に合った花をプランターに植栽、配置し、来訪するお客様を快くお迎えしようと活動しています。

さらに、前沢地区においては昭和59年に、市制施行30周年記念のお祝いにアメリカ合衆国元大統領ジミー・カーター氏が来市され、前沢地区にある前沢ガーデンハウスに向かうための道路約1.0kmを地域の方々が花で飾ったことがきっかけで、以後、この花の道を「カンナロード」と名づけ、毎年、地域ぐるみで緑化に取り組んでいます。主に5月の定植式と11月の球根掘り、その間の花壇管理等を行っています。春に植えたカンナは7月になると鮮やかな赤色の花が咲き誇り、夏の陽ざしによく映え、道行く人々を楽しませてくれます。



写真2 前沢地区「カンナロード」

また、その他地区においても地域の緑化推進のために様々な工夫と努力を重ねながら、花と緑の豊かなまちづくりを進めるべく活動しています。

今後も花と緑の銀行黒部支店は、市民の皆様との協働による緑化活動を進め、潤いあるまちづくりを推進していきたいと考えております。

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン

29 タイツリソウ

職藝学院

教授 渡 邊 美保子

タイツリソウは、中国北部や朝鮮半島などに自生する宿根草です。ケマンソウとも呼ばれています。タイツリソウの名前の由来は、弓なりに曲がった茎に紅色のハート型の花が並ぶ姿が、釣り竿にぶら下がる鯛に似ているからとのこと。開花は、4月下旬から5月上旬です。草丈は70cm位で、花茎は噴水状に広がります。花の色は、紅色と白色があります。芽出しは4月初旬で、地面を割って出た葉の色を見れば花の色が想像できます。赤紫の葉は紅色、黄緑色の葉は白色です。

花は、花茎の下の方から順にふくらんで茎の先端に向かって咲き進みます(写真1)。ハートの形に見える花はまだ蕾です。満開を知らせる合図があります。なんと、ハートの真ん中が、ぱっくり割れてきます。そのハートの先にぶらりと長い腕のようなものが2つ下がっているのですが、これが、片方ずつ順番に上に向かって折れ曲がるのです。この2枚の花びらが万歳をした時が満開なのです。その瞬間に、内側に隠れていた不思議な形をした白い花卉が現れます。花茎にお行儀よく並んだ花たちは、まるでお天道様には興味がありませんというように、花茎の下に広がる葉ばかり見つめています。太陽の光がまぶしすぎるのか、花びら越しに光をもらって種をつくります。



写真1 4月下旬。紫がかった花茎に10数輪の花を付ける。花茎の半分ほど開花が進んだ様子。

抹茶色の葉は、それだけ眺めても存在感と気品があり、花茎の下で翼を広げた鳥の羽根のように水平方向に広がります。花が満開になる頃の早朝、ほんの一瞬だけ美しい光景を見る事ができま

す。切れ込みのある葉のほとんど全ての先端から水玉がポンと生まれるのです。数え切れないほどの銀色の水の粒が空中で踊っているように見えます。タイツリソウの本当の秘密を知ってしまったような気持ちになります。

好む場所は、落葉樹の下などの木漏れ日が差すような所です。朝日のあたる東側のやわらかな光を好み、西日は嫌います。適度に湿り気があり、水はけの良い場所であれば長生きしてくれる宿根草です。植栽のデザインは、タイツリソウ1株を主役にして、その周りに葉の小さい品種のギボウシ類やニッコウキスゲなどの細長い葉が茂るタイプの宿根草で囲むようにすると良いでしょう(写真2)。なぜなら、タイツリソウは夏を越すと葉が黄色くなり、やがて地上部が枯れてゆきます。そのため、地面がむき出しになった場所を隠してくれる、葉がワサワサ広がる宿根草と組み合わせます。タイツリソウの根は、お隣さんの宿根草の葉の陰で安心して眠りにつくことができます。



写真2 5月初旬。タイツリソウ（紅色）、ムスカリ（青）、斑入りの小葉のギボウシ類、ニッコウキスゲの仲間。

庭木に利用する樹種の特徴と管理

～ イロハモミジ ～

日本樹木医学会富山県支部

樹木医 西村 正 史

秋に紅葉する樹種の代表選手は何と言ってもカエデ類です。その中でもイロハモミジは公園や庭園等に庭木として最も多く植栽されています（写真1）。秋の紅葉はもちろんのこと、春には新緑を親しむことができる樹種でもあります。

1 特徴

福島県以西の本州、四国、九州、朝鮮に分布するカエデ科カエデ属の落葉高木です。生育場所は川べりや谷合です。このことから、①排水がよい湿潤で肥沃な土壌を好みますが、②乾燥に弱く、③直射日光や西日が苦手です。

和名の由来は、葉の裂片（写真1の右下）を数えるとき、「イロハニホヘト」と数えたことによると言われています。イロハカエデとも呼ばれています。

2 管理

庭に植栽するときは、前節の①から③までを守る必要があります。そのためには、植栽前に植えたい場所の土壌状態を知ることが大切です。土壌がやせておれば、土壌を50cm程度の深さまで掘返し、腐葉土を入れて土壌と良く混和して戻し、その後植栽します。水はけが悪いようであれば、庭の外に水が排出されるように暗渠排水等の対策をとります。

自然樹形が美しいので、剪定をしないで育てればよいですが、混み合って整枝剪定が必要になれば、落葉直後に自然樹形を乱さない範囲内で行います。

モミジ類の病害虫はカミキリムシ、アブラムシ、イラガ、うどんこ病等です。特に注意しなければならないのは、ゴマダラカミキリの幼虫による被害です。幼虫は幹の内樹皮・形成層・辺材部を食害しますので、多発すれば水や養分の通り道が遮断され、枯死に至ります。被害は幹から虫糞が排出されていることが目印です。排出中の虫糞を見つけたら、園芸用キンチョールEで対応してください。これはノズル式ですので、虫糞の排出口にノズルを差し込んで薬剤がそこから流出するまで噴射してください。

3 その他

県内にはイロハモミジの大きな木があり、県や市の天然記念物あるいは市の保存木等に指定され、維持管理されています。

砺波市五郎丸の五鹿屋農村公園内には、市の保存木となっているイロハモミジ（推定樹齢は200年）があります（写真2）。植栽されている場所は旧小学校の運動場であったため、生育条件としては悪い環境下にあります。そのため、樹勢は衰退傾向にあり、これまで、維持管理のための対策が講じられてきました。

昨年からは、直射日光を避けるため、イロハモミジの樹冠全体を夏の間遮光シートで覆う作業も再開されました。今年の3月には、樹冠周辺の土壌改良が実施されました。このように、この地区ではこの保存木を後世までに残すための努力が熱心に続けられています。



写真1 富山県中央植物園のイロハモミジ
(2011年11月28日撮影)



写真2 砺波市五郎丸 五鹿屋農村公園内のイロハモミジ
(2017年7月15日撮影)

とやまの花壇 ～八尾園ふれあい花壇～

富山県内には、地域の方々が丹精込めて管理育成されている素晴らしい花壇があふれています。癒しとインスタ映えのスポットです。来訪をお待ちしています。

1 花壇の特色

八尾園ふれあい花壇は、S字カーブに沿った花の道と、下部の花壇を組み合わせた複合花壇です。

地域の美化活動から作った腐葉土を、毎年、活用して根張りと保水性に優れた土づくりをしています。

花は主にこぼれ種や昨年採取した種から冬の間に苗づくりし、コストの軽減を図っています。

緑豊かな自然風な花壇に一年草を植えこむことで、一年を通してとても華やかな花壇となっており、道行く人を楽しませています。

<表彰歴等>

H22 全国花のまちづくりコンクール奨励賞

H25,28 県花のまちづくりコンクール(花の道)最優秀賞

H29 県花のまちづくり推進モデル花壇

2 花壇の活動概要

(1) 取組み

昭和32年より(約60年)、施設の生きがいつくり、環境整備を目的に園芸作業班を創設し、水やりや花がら摘み、土づくりなどの担当を決めて取り組んでいます。

また、花壇の他にも①地元の警察署や福祉センターに季節の花の寄せ植え、プランターを届け、②育成した花苗を保育所や花愛好家に提供するなど、たくさんの地域の方が花と触れ合えるよう、環境づくりに努めています。

(2) 努力してきたこと

土づくりと苗づくりに力を入れています。

○ 秋に地域美化を兼ね、近隣の街路樹や神社の落葉を集め、米ぬか、鶏糞、燐炭などを混合して寝かせ、何度も切り替えしをして、良質の自家製腐葉土をつくり花壇やプランターに施しています。

○ 花苗もなるべく秋に採取した種を冬の間に、ビニールハウスなどで育苗して増殖しています。いずれも、コスト軽減に貢献しています。



写真1 腐葉土づくり、花壇作業(秋～春)

3 今後のおもい

園芸作業に取り組むことにより、なにより皆が活き活きと良い顔で過ごしています。花苗配布が始まった保育所の園児らとの楽しい交流も続いています。

作業者の高齢化などの問題もありますが、若い方への指導なども行い、これからも地域での花に触れ合う場づくりに取り組んでいきます。

(以上、八尾園 島滝さんからお聞きました。)

○花壇の概況

- ・規模 延長270mの花の道
- ・見頃 7月～9月
- ・管理者 社会福祉法人 白皇山保護園
救護施設 八尾園
- ・住所 富山市八尾町福島



写真2 S字カーブ道(左右)の花の共演(29年8月末)



中田を花いっぱい

中田地区花と緑の推進協議会会長

高岡支店中田地方銀行 頭取 堂田 正三

「水と花と緑の中田町」をシンボルとして掲げ、中田地区を花いっばいと、昭和63年に中田地区花と緑の推進協議会を設立しました。多くの先輩方の努力により現在でも至る所に、フラワーポットや花壇を設置し、中田地区を訪れる方々を花で迎えています。

花を地区で育てようと、平成元年に中田花壇グループを結成し、種まきから育てて花苗を中田地区のみならず、高岡市内外へと供給しています。現在はプラグ苗より育て、サルビア、ペコニア、マリーゴールド等、17種類、約3500株を作っています。以前は富山県等にも供給し、多いときは約7500株育てていました。

この花苗作りに私も携わって20年あまり、種まきの土づくり、発芽、ポットへの花苗植え、水管理、防除と約2か月半、会員と共に取り組み、出荷時には、花苗の立派さに感動し、皆と共に喜びあっています。

現在、グループ会員は9名となり、高齢者ばかりですが、作業の時は皆と和気あいあいと話し、体力の続く限り、頑張ることを誓い、花づくりに取り組んでいます。

中田地区の特長として、中田独自の花壇コンクールを実施し、今年で28回を迎えます。多数の出品を

いただき優秀な花壇、フラワーラインの部を表彰しています。

今まで私は、①全国高校総体の時の3000個のプランターによる花作り、②花とみどり・ふれあいフェア（花と緑の銀行）や新幹線新高岡駅前の花いっばいおもてなし・コンテナガーデン作り、③第68回全国植樹祭とやま2017における飾花プランター制作など、多くの事業に携わってきました。

会員の方々の協力により立派に成し遂げたことが私の誇りと喜んでおり、その気持ちをこめ、今後とも花作り作業を続けていきたいと思っています。



会員の皆さんとの和気あいあい花苗作り

報告コーナー

平成29年度「花とみどり・ふれあいフェア」を開催

- ・今回で28回目となる花とみどり・ふれあいフェアを、3月3日(土)～4日(日)にフューチャーシティー・ファボーレで開催しました。2万人以上の皆さまに訪れていただきました。
- ・フェアでは、花と緑に「見て、ふれて、感じ」親しんでいただこうと、関係団体・花と緑の銀行各支店が協力して、①県産チューリップやスイセン、椿など花と緑の展示、②花束や寄せ植え、生け花などの体験教室、③昨春の全国植樹祭で天皇、皇后両陛下が使われた「御机」や「御鋤」などの展示など、多彩な催しを行いました。

平成29年度コンテナガーデンコンテスト・わたしの寄せ植え表彰

- ・花と緑の銀行が毎年、実施しているコンテナガーデンコンテスト(11回)、わたしの寄せ植え(8回)の表彰を、フェア会場で3月3日(土)行いました。
- ・各支店からコンテナ11作品、一般の方より寄せ植え23作品の応募があり、次の作品が入賞されました。

○コンテナガーデンコンテスト入賞作品

賞	出展団体	タイトル
大賞	花と緑の銀行 上市支店	希望の未来(旅立ち)
優秀賞	花と緑の銀行 南砺支店 上平支所	いろり
優秀賞	花と緑のBK 松沢支店	夢見るおやべ
特別賞	立野栄町花づくり会	美しい湾クラブ 立山曼荼羅
特別賞	境、宮崎、笹川地方銀行	走り抜けろ 朝日 トレイルラン
特別賞	滑川・西加積地区	行田公園の森

○わたしの寄せ植え入賞作品

賞	氏名	タイトル
1位	熊野 武子(砺波市)	春の訪れ
2位	高木 清一(砺波市)	雪解け 間近…
3位	金原 英子(富山市)	#多肉の世界に住んでみて…
優秀	桶上 淳子(富山市)	漸く春
優秀	浦井希代子(南砺市)	春の妖精
優秀	高木 悟美(砺波市)	光射す・春来る遊び!
優秀	布村 正昭(富山市)	田舎の春
優秀	大蔵 昌子(砺波市)	花、恋人気取り!
優秀	宮野 裕子(砺波市)	春のおとずれ
優秀	森田 真実(砺波市)	春のおとずれとともに
優秀	山田 政寛(南砺市)	風雪に耐えて…2018!



「花とみどり・ふれあいフェア」H30.3.3～4
左上より 寄せ植え展、生け花教室 左下より ツーショットスポット、モデル庭園

お知らせコーナー（6月～7月の主なイベント）

平成30年度花と緑のコンクール実施予定

コンクール名	応募締切	審査日
○ 富山県花のまちづくりコンクール		
幼稚園・保育所花壇部門	7月11日（水）	7月19日（木）～20日（金）
学校花壇部門	7月18日（水）	7月26日（木）～27日（金）
花の道部門	7月25日（水）	8月2日（木）～3日（金）
一般花壇部門	7月25日（水）	8月8日（水）～10日（金）
○ 花と緑の標語コンクール	7月31日（火）	8月31日（金）
○ 花と緑のポスター原画コンクール	9月12日（水）	9月12日（水）

* 花と緑の銀行 HP でもご案内します。参照ください。

富山県中央植物園

- ウチョウラン展 6月16・17日（土・日）
 - 夏のラン展 7月7・8日（土・日）
 - 夜間開園「ゲッカビジン観賞」 6月下旬～7月下旬（開花日2日間）19：00～21：30
 - 早朝開園「ハスの花の観賞会」 7月21・22日（土・日）6：00～
- （詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。）

県民公園 頼成の森

- 花しょうぶ祭り 6月8～17日（金～日）9：00～17：00
全国有数の花しょうぶ園、多彩なイベントを準備しています。
 - 花しょうぶ染め教室 7月1日（日）9：30～12：00
花しょうぶで花びら染め 定員25名 参加費 1,000円
 - 野鳥と昆虫の観察会 7月22日（日）9：30～12：00
森や池の生物、昆虫、野鳥の観察 定員25名 参加費 無料
- （詳細はHPをご覧ください。申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ。）



編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-2425
FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-4187
FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/>

花と緑の銀行だより 207号

発行日 平成30年5月
再生紙を使用しています。

県民公園頼成の森
〒939-1431 砺波市頼成156
TEL 0763-37-1540
FAX 0763-37-1450
<http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>